

施策評価シート(令和4年度実績評価)

◎施策の基本情報

政策No	0303	政策名	生涯学習の推進	施策主管課	生涯学習課	課長名	梅原 奈美
政策の目指す姿	生涯を通して学び、広い視野を持ち、活動しています						
施策No	02	施策名	青少年の社会教育	関係課名	総務課、市民生活総合相談センター		
施策の目指す姿	地域社会の中で、自立した青少年が育つ環境が整っています						
現状と課題							
<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の中で行事やボランティア活動に、青少年が参加していると思う市民の割合が、平成30年度に27.0%となっており、少ないと捉えられています。 ・花巻警察署管内の少年補導者数は減少しています。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年が参加しやすい事業の計画と、事業の周知方法を検討する必要があります。 ・非行の発生をさらに減らすため、継続した非行防止の取組が必要です。 ・インターネットやスマートフォンの普及などにより犯罪が多様化していることから、時代にあわせた青少年の非行防止策を講じていく必要があります。 							

◎前年度の評価の振り返り

前年度評価時の今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策の観点から、成人式記念行事実行委員会の開催時期を早める、会議の回数を減らしつつ効率よく意思決定を図るように促す等あり方について検討する。 ・少年補導委員は教職員、地域の推薦者等へ委嘱しており、警察や学校、地域の方々の連携のもと地域の方々の見守り体制を維持し、少年非行防止のみならず、子どもたちを事件・事故から守る視点での街頭活動を継続する。 ・小学生を対象とした非核平和学習会については、現地（広島市）に赴かなくても現地講師等の派遣やオンライン講座等の方法を検討する。

反映状況

<ul style="list-style-type: none"> ・前年度に方針を決定したとおり、新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じたうえで、成人式を「20歳のつどい」として実施した。 ・新型コロナウイルス感染症対策として、抗原検査キットとマスクをすべての少年補導委員に必要数配布し、安全な活動に配慮しながら街頭補導活動を継続実施した。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、小学生を広島市に派遣しての平和学習会は実施できなかったが、広島平和記念資料館の講師を招き、市内小学生（5・6年生）27人に対面での非核平和に関する講座を開催した。
--

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

<p>(1) 青少年活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○青少年健全育成のための事業の開催及びSNS等を活用した周知 <ul style="list-style-type: none"> ・「はなまきおもしろ探検隊」事業の実施 ・花巻市20歳のつどいの開催 ・非核平和推進事業の実施 ○青少年健全育成事業の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・花巻市青少年育成市民会議への補助 <p>(2) 青少年の非行防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ○少年センター等による青少年の非行防止 ○少年補導委員による街頭補導活動の実施
--

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	区分	H31	R02	R03	R04	R05	R06
地域で行われている行事やボランティア活動に、青少年が参加している市民の割合	青少年が地域の中で行事やボランティア活動に加わるなど、地域社会の一員となって育っているかどうか市民の認識の度合いを示す指標	出典：市民アンケート 問：地域で行われている行事やボランティア活動に、青少年（小学生～20歳位）がよく参加していると思いますか？ (1) そう思う(2) どちらかといえばそう思う(3) どちらとも言えない(4) どちらかというところ(5) そう思わない (1)(2)と答えた市民の割合	%	目標値	39.00	37.00	38.00	39.00	40.00	
				実績値	25.40	19.10	17.50	17.80		
青少年の健全育成活動にかかわった市民の割合	青少年の育成のため、地域での子どもの見守りや健全育成活動など、具体的な市民の取り組み状況を示す指標	出典：市民アンケート 問：あなたは、昨年1年間に何らかの青少年健全育成活動（子ども会、スポーツ少年団等の地域の青少年団体活動、スクールガード等）にかかわったことがありますか？ (1) ある(2) ない (1)と答えた市民の割合	%	目標値	29.00	27.00	28.00	29.00	30.00	
				実績値	21.20	13.70	14.60	13.60		
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
D	<ul style="list-style-type: none"> ■成果指標「地域で行われている行事やボランティア活動に、青少年が参加している市民の割合」・・・【達成度c】 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、大人数で行う地域行事等が中止もしくは縮小され、ボランティア活動の場が制限されているため、年々実績値が減少してきたと考えられる。 ■成果指標「青少年の健全育成活動にかかわった市民の割合」・・・【達成度c】 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、大人数で行う地域行事等が中止もしくは縮小され、ボランティア活動の場が制限されていることのほか、少子化により活動の場が減少しているものと史料される。

4 施策を構成する事務事業の検証

①市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストの割に成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか
なし
施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか
<p>(青少年活動推進事業) 高校生等のボランティアリーダーが活躍できる場を展開し、児童・生徒から青年層まで、年齢に応じた体験の循環ができるような新たな事業を検討する。</p> <p>(非核平和推進事業) 非核平和学習会(広島市へ小学生を派遣)については、新型コロナウイルス感染症の対策が緩和されるなか、広島市への小学生の派遣について改めて検討し、現地ならではの体験による非核平和への理解を進める取り組みが必要である。</p>
新たに取り組むべき事業はないか
なし

5 施策の総合的な評価

課題
<ul style="list-style-type: none"> ・高校生等のボランティアリーダーが活躍できるような事業を検討し、児童・生徒から青年層まで、年齢に応じた体験の循環ができるようにする必要がある。 ・花巻警察署による不良行為補導件数は、令和4年中においては20件(前年度比10件の減)、不審者による子どもの生命または身体を害するような声かけやつきまとい行為などの認知事案が20件(前年度比4件の減)と減少傾向にあり、少年補導委員等の目に見える街頭補導活動や啓発活動により補導件数の減少など一定の成果が認められるが、さらにより効果的な少年の非行防止と犯罪被害防止対策と担い手の確保が必要である。 ・非核平和学習会(広島市へ小学生を派遣)については、新型コロナウイルス感染症の対策が緩和されるなか、広島市への小学生の派遣について改めて検討し、現地ならではの体験による非核平和への理解を進める取り組みが必要である。また、平和教室について、より多くの子どもたちを対象とする目的から、新たな形態での開催方法が課題である。
今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・高校生等のボランティアリーダーが活躍できる場を展開し、児童・生徒から青年層まで、年齢に応じた体験の循環ができるような新たな事業を検討する。 ・少年補導委員は中高教職員、地域の推薦者へ市が委嘱しており、警察や学校、地域の方々の連携のもとに見守り体制を維持し、少年非行防止、犯罪被害の防止の視点で街頭補導活動や啓発活動を継続する。 ・小学生を対象とした非核平和学習会については、広島市の状況を見ながら派遣を検討する。また、平和教室の開催については多くの子どもたちに非核平和への理解を深めてもらうため、広島平和記念資料館講師によるオンライン講座の開催について検討する。

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名	担当課	施策への貢献度		
	事業内容(活動実績)		対象	意図	成果
			直結度		
010	青少年活動推進事業費	生涯学習	一致	直結	C
	「はなまきおもしろ探検隊」(小学生を対象とした生涯学習講座)開催(全5回、参加者81名)、20歳のつどいの実施(対象者:950名、当日参加者686名)、青少年関係団体への支援(2件)				
			A		
020	非核平和推進事業費	総務	間接・少数	直結	B
	非核平和講座の開催(1回、参加者27人)、非核平和講座の感想文集発行(1,480部、小学5・6年生へ配付)、平和教室の開催(小学校1回、参加者17人)、非核平和展の開催(5日間、大迫・石鳥谷・東和各図書館)				
			B		
030	少年センター運営事業費	市民相談	一致	直結	B
	少年補導委員による街頭補導活動の実施回数は延べ292回。全委員に抗原検査キットやマスクを配布し新型コロナウイルス感染症対策を講じ、安全な活動に配慮した。				
			A		